

平成 29 年度 研究計画書

Research Plan FY2017

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ・アメリカⅡ講座 教授
氏名 Name	川北 (安生) 恭子
専門分野 Academic Field	フランス語学

平成 29 年度 研究計画 (ホームページで公開) Research Plan FY2017 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	フランス語連結詞				
研究計画 (400 字～500 字で記入すること。) Research Plan (Approximately 100 Words)					
<p>(1) 日仏語対照研究の一環として、フランス語連結詞研究を続行し、日仏語の思考表現方法・論理構成の類似および差異を把握することを目指す。今年度は、既に分析・考察してきた <i>après tout, de toute façon, quoi qu'il en soit, en tout cas</i> 等を推意の介入・談話のテーマという観点から相違点を明確にしていきたい。また、これらフランス語連結詞と日本語の対応表現を比較対照する。</p> <p>(2) フランス義務教育とくに小学校における国語教育を、実際の教科書および教師用手引書を分析しながら考察する。語彙および文法の習得内容や習得方法に焦点をあて、外国語としてのフランス語教育への応用可能性を検討する。</p>					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	言語学	外国語教育	対照言語学		
キーワード Keywords*2	連結詞	談話	接続詞	推意	